

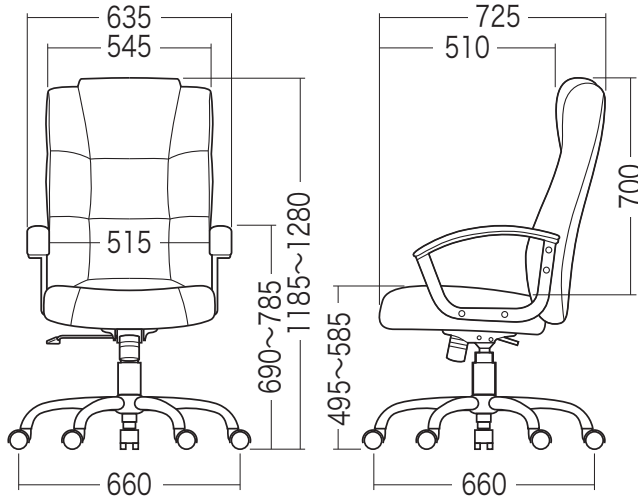
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

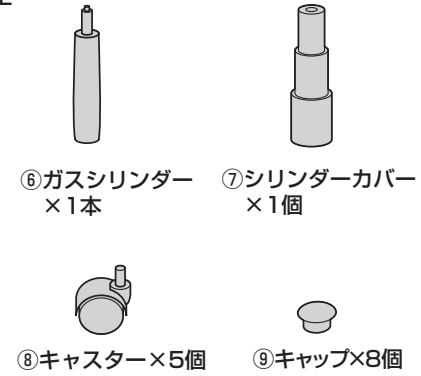
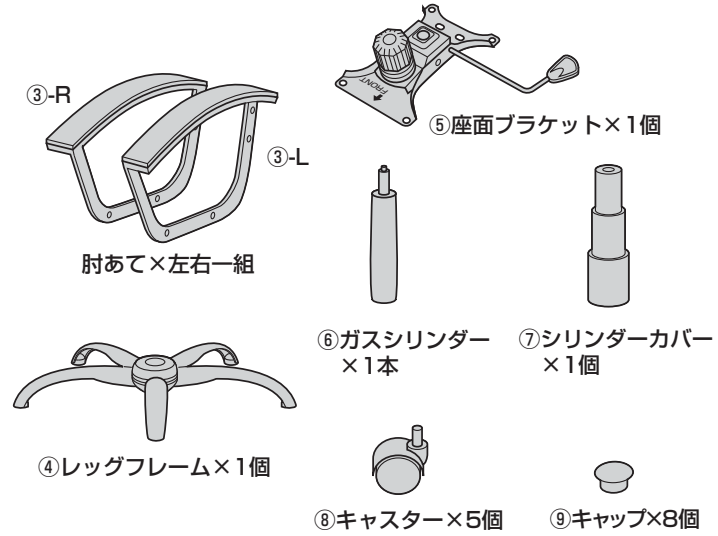
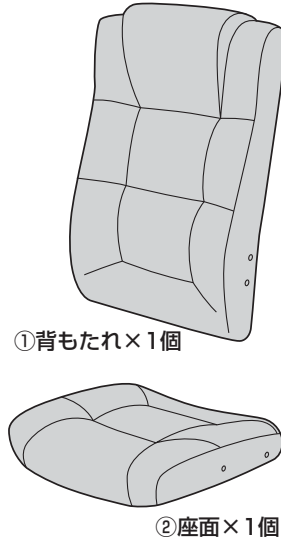
★用意していただくもの……
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

完成図

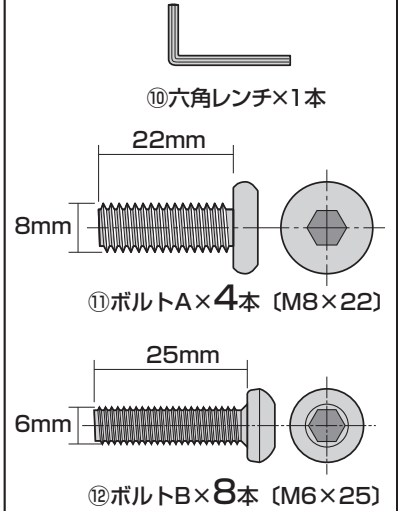


組立て部品

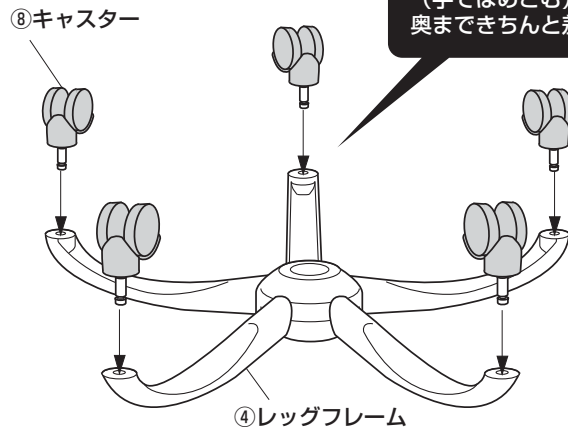
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(SNC-L7K)と
下記の部品番号(①~⑫)と部品名(六角レンチなど)をお知らせください。



ボルトセット



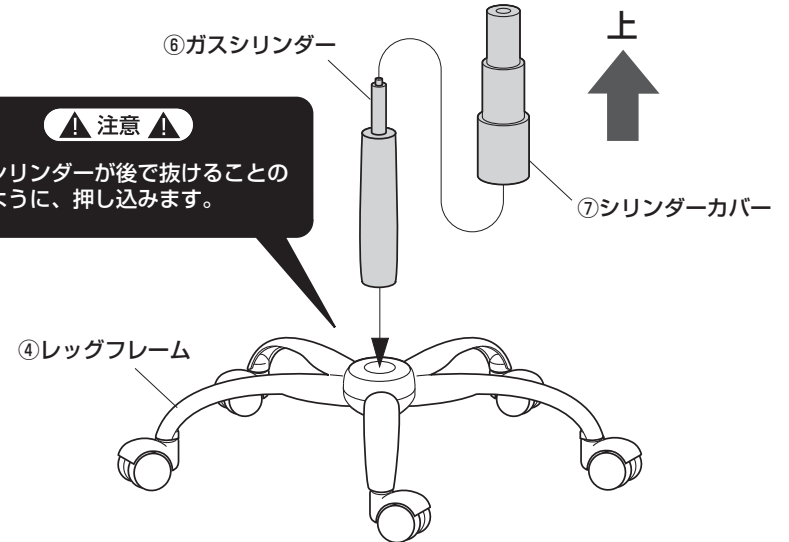
1 レッグフレームをひっくり返し、キャスターを取付けます。



⚠ 注意 ⚠

それぞれのキャスターは全て圧入式です。
(手ではめこむ)
奥まできちんと差し込んでください。

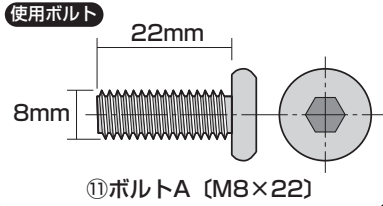
2 レッグフレームにガスシリンダーとシリンダーカバーを取付けます。



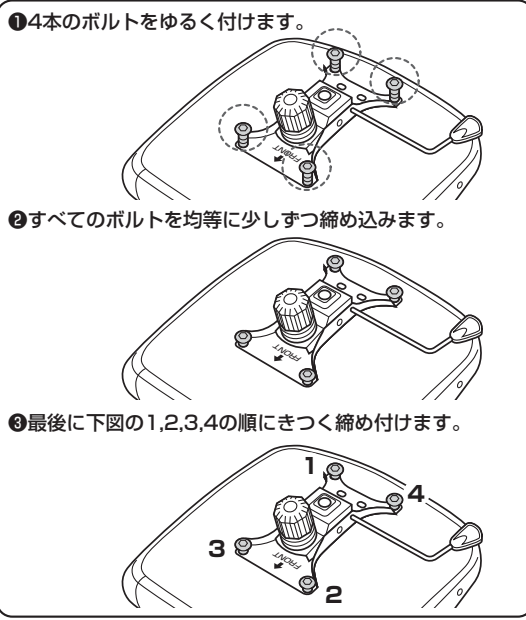
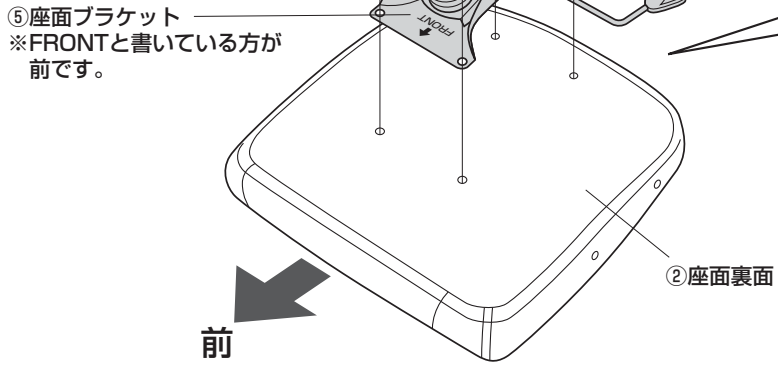
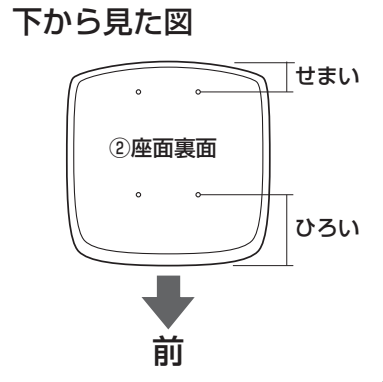
⚠ 注意 ⚠

ガスシリンダーが後で抜けることのないように、押し込みます。

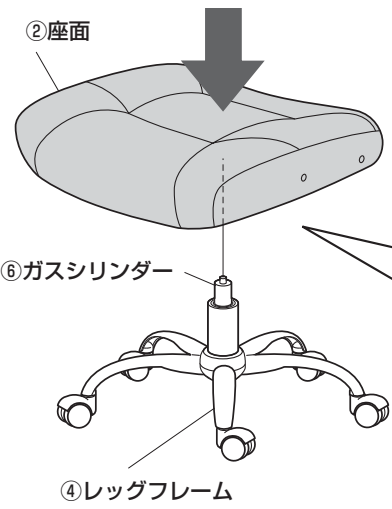
3 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。



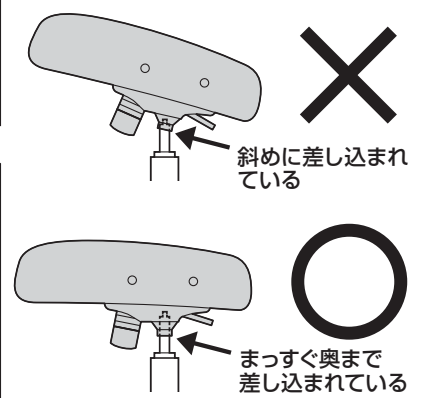
▲ 注意 ▲
ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。



4 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。

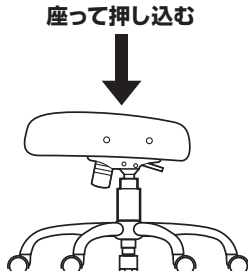


▲ 注意 ▲
座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面が斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

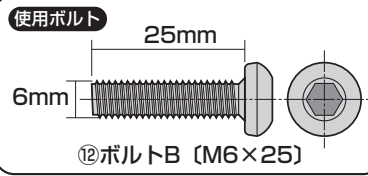


※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかりと体重をかけてください。

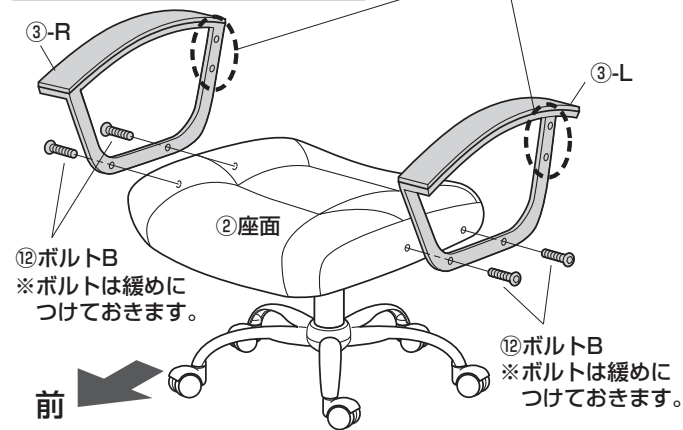
- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。



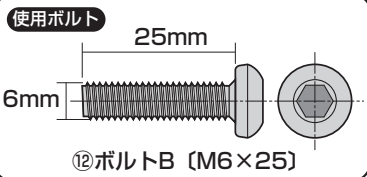
5 座面に肘あてを取付けます。



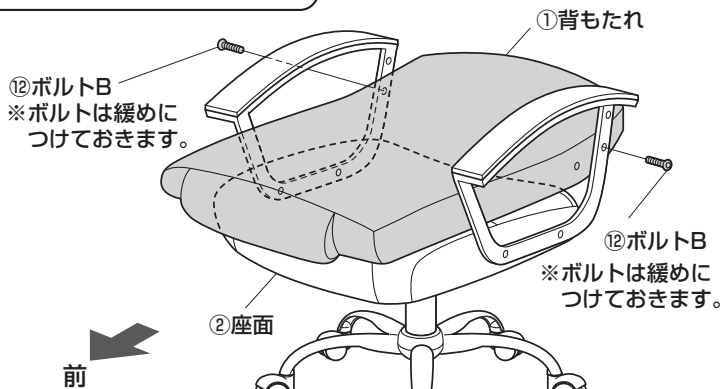
③肘あて
※穴がある方が後です。



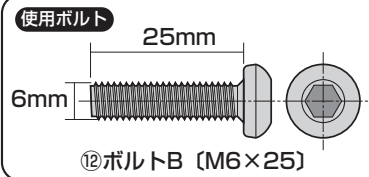
6 肘あてに背もたれを取付けます。



※背もたれを前に倒した状態で座面の上に寝かせ、下側のボルトを取付けます。



7 背もたれを起こして固定します。

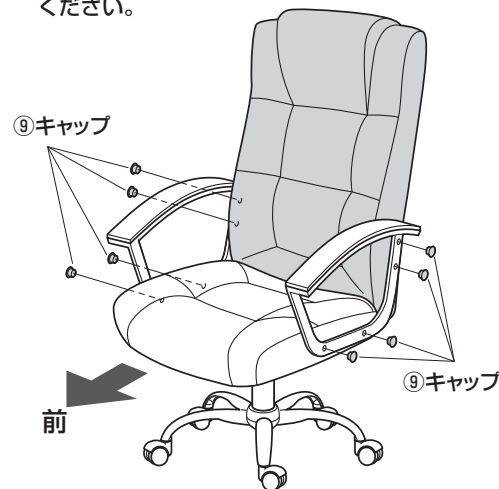


※背もたれを起こして、上側のボルトを取付けます。



8 キャップを取付けて完成です。

※キャップがきつく、はめ込めない場合は布など柔らかいものを押し当てて、ハンマーやドライバーの後側などの硬いもので叩いてはめ込んでください。

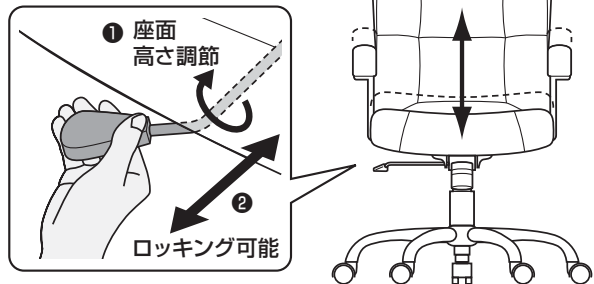


各部の調節方法

▲注意▲ レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

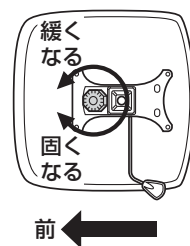
①レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

②レバーを外側に引き出すと、ロッキング機構が働き、差し込むと固定されます。



下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

外形寸法：幅660×奥行725×高さ1185~1280mm (座面高さ495~585mm)
構造部材：座部・背もたれ部/合板、ウレタン 肘あて部/スチール、ウレタン
脚部/スチール キャスター部/ナイロン クッション材：ウレタンフォーム
張り材：革張り(スプリットレザー・裏面と側面はPVC)

▲使用上の注意▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面、肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢よく座らないでください。勢よく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。